



## イベント

●フロード・ドビュッシーの生家では、毎年多数の趣向を凝らした音楽イベントが行われています。彼の素晴らしいレパートリーの中からの選りすぐりの作品や、彼の愛したバロック音楽、そして彼が影響を与えたり評価していた同時代の作品などを数多く紹介しています。

●これらのイベントは、サンジェルマン・アン・レーで演奏の授業を活気付けた素晴らしいピアニストでもあり音楽教育者でもあったイヴォンヌ・ルフェビュールの功績を記念し献上された視聴室で行われています。

●観光案内所は、個人のためには定日に、団体には予約の日に、文化・コミュニケーション省認可の専門ガイド付き見学を行っています。



## フロード・ドビュッシーの生家

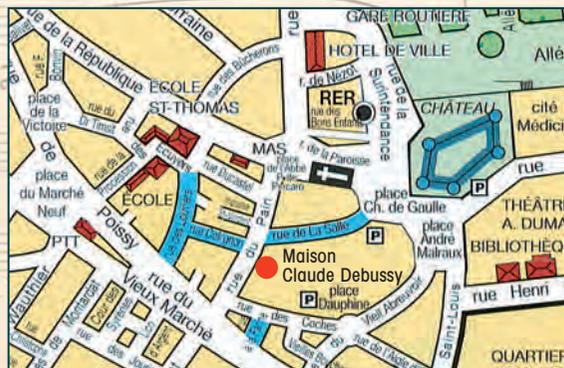
38, rue au Pain - 78100 Saint-Germain-en-Laye  
www.saintgermainenlaye.fr

営業:

火~土 14:00 - 18:00

10月から4月 14:00 - 17:30 (祝日は休館)

入館料無料



アクセス:

車A14 - A13 - RN 13 - RN 184/

電車RER A1終点Saint-Germain-en-Laye駅下車 / バス 258

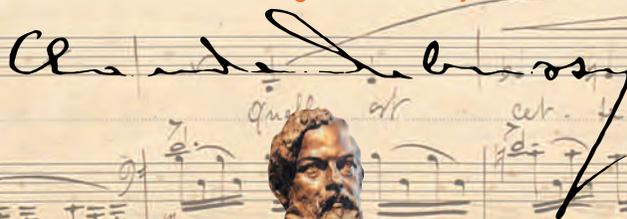
音楽イベントのプログラム

お問い合わせ、団体予約はこちら:

観光案内所

☎ : + 33 (0)1 30 87 20 63

info@ot-saintgermainenlaye.fr



## フロード・ドビュッシーの生家

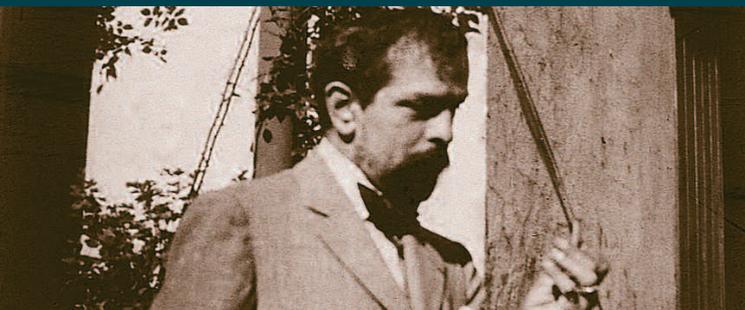


38, rue au Pain  
78100 - Saint-Germain-en-Laye

お問い合わせ:  
+33 (0)1 30 87 20 63



© www.projetdebussy.fr - ROUGE VIF - 23/07/2014 - no.06/06/2014



クロード・ドビュッシーの生家

### 家

- この生家は、バラスト付きの美しい階段で二分された二棟の住居で構成されていて、樹木の年輪分析によって1680年代の建造物と推定されています。
- サンジェルマン・アン・レー市により修復され、1972年に市の歴史的記念物の目録に追加登録されました。
- ドビュッシーは、1862年8月22日に両親が陶磁器店を営んでいたこの家で生まれました。
- 1990年以降、2階にクロード・ドビュッシー美術館、1階に観光案内所が設置されています。



### クロード・ドビュッシー (1862-1918) フランス人 作曲家

● クロード・ドビュッシーは、この時代の画家や詩人達と緊密に交流し、20世紀の音楽に多大な影響を及ぼしました。伝統とは異なった斬新な音色を生み出しながら、新しい音楽の道を切り開きました。



早くから才能が開花し、1884年にはローマ大賞を受賞しました。イタリアから「ズレイマ」、「春」、「選ばれた乙女」の3つの楽譜を送るも、フランス学士院はこれらの作品を斬新過ぎると見なし、あまり高い評価を与えませんでした。

- 一時ワーグナーに夢中になったドビュッシーはパイロイトを2年連続(1888-1889)で訪れた後に、象徴派の詩人達と交流したり、ラファエロ前派や象徴派の画家達に惹かれたりしながら、彼独自の作品の方向性を導き出して行きました。
- メーテルリンクの戯曲に基づいて作られたオペラ「ペレアスとメリザンド」(1893-1902)は音楽の歴史に深く刻まれるものとなりました。ドビュッシーは同様に交響詩「牧神の午後への前奏曲」(1892-1894)、「海」(1905); 舞踊詩「遊戯」(1912)、「おもちゃ箱」(1913); 劇音楽「聖セバスチヤンの殉教」(1911); ピアノ曲(子供の領分)、そして数多くの歌曲なども作曲しました。

### 美術館

- 静かでくつろいだ雰囲気の中に展示されている彼の私物、楽譜、絵画等の美術品類が、ドビュッシーの音楽の歴史、生活や趣向などを物語っています。
- いつも彼の周りを囲んでいた数々の物(例えば、ヒキガエルのアーケル)が机の上に展示され、「シャルル・ボードレールの5つの詩」の楽譜、中国や日本製の小物などが作曲家の仕事の雰囲気を再現しています。「金の魚」の漆器と、ジャック・エミール・ブロンシユ(1861-1942)によって描かれた肖像画は心地よくイメージを膨らませています。
- これらのコレクションは市が購入したもので、更にはドビュッシーの義理の娘マダム・ドゥ・ティナンからの遺贈品や、音楽美術館からの作品の貸出しなどからなるものです。

